

月曜是非

町村財政の窮乏

先般平町の初町會で『地方財政調整交付金制度設定』に關する意見書を議決して、首相及び内相、蔵相に提出した。

是れは町村の財政が全く赤字づくめで行詰りも甚だしいので、此のバランスを合せる爲めに、國家は相當の金を町村に交付して欲しいといふにある、此の案は先に全國的な要望の聲を反映して、その請願が衆議院の採擇する處となり、内相も五千七百萬圓を全國にバラまく事を決意したのであるが、財源關係から蔵相の反對に逢遇し、握り潰しとなつて遂に實現の機を得ず今日に至つたものである

而し依然として自治体の財政は危殆に瀕する一方で收拾至難の爲め更に捲土重來的の猛運動に砲列を敷き所期の目的を貫徹すべく、全國町村よりの意見書提出の火蓋が切られ、平町も此の運動に合流する事となつた、政府自身が赤字難の折柄、果して此の要求が容るゝ處となるや否やは未知數に屬する問題であるが、斯かる制度の設定を念願するに至るは如何に町村の窮乏の勢だしきかを、政府要路者も觀過し能はざるものがあらふと思ふ。

増税等の誅求を以つて迫らるゝが如き、場合がないかどうかを杞憂するものである、斯くしては左手に恩恵を施し、右手に刃を擬するも同様である。

故に交付金の制度もさることながら、更に政府は自治体の更生對策として、永遠的な財源の涵養を圖る事に留意して欲しいのである

軍部は五六年が危機であると稱して膨大な豫算を奪取した、國民は非常時であるの故を以つて此事に眼目したのである、當時軍部は何んと云つたか、即ち此の金の大部分を地方に均霑させる爲めに軍需品工場のみを地方に分散させると云つた。然るに今日に至るも未だ本縣内に軍需品工場が一ヶ所でも立つといふ話を寡聞にして耳にしな、況や郡内に於いてをやである

らも繼子扱へであるといふ事が穴勝東北人のひがみ計りではない。

磐女一學級

増加の寄附

各町村が醸出 入學難を緩和

石城町村長支會は去る十二日の總會に於いて磐城高等女學校の一學級増加を計り同校一年級の收容定員二百名を二百五十名とし入學難の緩和を畫るべく此の爲めに必要な建築費二千五百圓を郡下各町村に割當輸出して縣に寄附する事に決定した

醫師會總會 健保の報告

郡醫師會總會は昨日午後一時より常磐銀行平支店樓上に開催松村幹事の會計並に健康保險の経過報告の後土屋衛生課長及び綠川本縣警部の講演等あり終つて住宅に宣傳されて居つたのは一家の非常時に當面した妻女が、取亂した様もなく、テキヤキとすべてを取運んだり、學校の先生をしたりしたのが、衆目を睥らせたのだ、當時代は女の學問程度が低かつた爲め特に目立つたのだ、妻女はエライものだ、其夫の江は、尙ドナニカ、エライ人に相違はあつたのだ、江は歩行も六ツつたのだ、江は病後を、経済で、敏速で、安易なる船中に其身を托したのだ。

高麗橋を中心として

眞木翁の懷古事談

奇傑 江政敏(五)

仙臺から船で函館

内助を積む妻の力

當時は今日の様に鐵道や電信などが日本の隅々まであつた時代ではない、石城から函館に行くには、仙臺を経由して鹽釜から小蒸汽船にて往來し、其より横濱

吉屋本店に於て懇親會を催した

繭の相場

見直しから 養蠶家の氣乗り

桑の不足は昨年以上か

石城地方の一般養蠶家は一時繭價の馬鹿安に見切をつけたものが今春繭の相場見直し豫想からまた一氣乗りを示し掃立數量も減する處か前年より幾分増加の傾向にあり一方施肥不十分である發育悪く昨年以上の桑不足を憂慮し何れも桑園の施設管理に努める模様である

待ち切れぬ製品 止むなく投賣り

山間部製炭業者の苦境 検査員の出張が少ない

澤渡、石積地方山間部各村の生産木炭は検査員が十日目毎に出張して検査する事になつて居るが其間生産業者は製品を持ち切れず止むを得ず、遂に自ら雜貨を以て、遂に自ら雜貨を以て、本道上下の漁場に行商し、海路舟を覆し、山行或は雲に没し幾回か死に瀕するの旅行をつゞけ、詳かに全道の風土物産の實況を視察した、十勝の沃野が、森林鬱蒼として、大津川(十勝川の下流)の漁業尤も壯快なるを一見するや、心切かに祝して曰ふ此處こそ男子業を立つるの地なりと、土着の念願りに動き遂に妻子を提げて十勝に移住した、それは明治十三年五月の事であつた。

教員講習

平第二校に

郡下小學校教員の講習會は来る二十日午前九時より午後三時迄平第二小學校講堂に於て福島縣女教員會主催の下に開催されるが科目及び講師は左の如くである

凶作工事入札

木監督所の凶作地對策工事として近く着工する澤渡村字中寺地内好間川の復舊工事の入札は来る十七日午前十一時より同所内で行はれる

江名船匠講習

江名漁業組合は來月一日より末日迄大日本水産會吏員を招き船匠講習會を開催するが講習科目は造船及び製圖である

衛生課長來郡

本縣衛生課長は去る十三日來平横山平署長と共に磐城炭礦病院を視察した

平町人事

回出

△四軒町五 佐久間仁(一ツ)
△胡摩澤一〇四 村岡安雄(四ツ)

平紹介所が百圓を 親に送つて娘を救ふ

貞操危険地帯一步前で 身賣りを防止

神谷村大字中神谷字瀬戸三
八鈴木ヨシさんは三年前夫
に死別し追ひ迫る生活難の
爲めに心を鬼にとり直し長
女トリ(三)さんを家庭の犠
牲とし某周旋屋の手を経て
神奈川縣三崎町の遊廓に四
年間五百圓の契約で身賣さ
せる事となつたが此程同地
警察署の温い計らひで抱主

編上靴を 手始めに 泥的を開業

磐崎村大字藤原字力石無職
酒井隆芳(三)は去る十一日
午前十一時頃湯本町字辰ノ
口鈴木七郎方より時價七圓
の編上靴を窃取した外数件
の窃盗を働いた事發覺し昨
日湯本町で平署員に檢舉さ
れた

船頭激浪に呑まる

漁船四隻を繰り出して

死體搜索

江名町南町五〇吉田龜吉
(三)は十一日午前零時半頃
同町北町吉原清所有の幸徳
丸船頭として相馬郡沖合に
出漁中激浪に凌はれた旨江
名漁業組合に入電があつた
ので同組合では漁船四隻を
出し死體搜索中である

湯氣の立つ お辨當

警女は例年通り明十五日よ
り温飯器を使用すると

大敷網が ピアノを寄贈

豊間村大敷事務所酒井與三
右衛門、阿部彦次郎、遠藤
治太郎の三氏は此程同村小
學校に皇太子殿下御降誕記
念として千四百圓のピアノ
一臺を寄贈した由

花盛り 馨女生の丹精

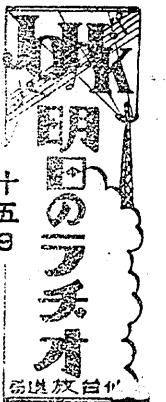
志村教諭指
導の下に生
徒が栽培し
てゐる馨女
の花壇は目
下サククラ草
を始めマガレット、ポイン
セチヤ、ゼラニウム等満開
で此處ばかりは常春の觀を
呈してゐるが希望者には各
花共一鉢七錢から十錢の實
費で分譲する由

七十七銀行 支店長宅へ

忍入した慌て泥棒
昨日午後九時頃平町三丁目
七十七銀行平支店裏小原支
店長宅へ家人の留守中忍入
つた一名の賊が室内物色中
家人が立歸り、泥棒々々と
連呼したので賊は慌て、一
物も得ずに逃走したが場所
柄だけに一時は大騒ぎであ
つた

津田校長光榮 平第 二小學校長津田達造氏は今 回高等官七等を以つて待遇 せらる

磐女書初め展 磐女
の書初め展覽會は今十四日



明日の天気
今晩も明日も北
西の風晴曇半す

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間
名作物語「弓張月」東京放
送童謡研究会
後六、二五 農村副業講座
「兎と密蜂の話」大山彦二
◎農村青年の夕◎
後七、三〇 講演 東大農
學部教授 農學博士 佐
藤次郎
後八、〇〇 詩吟 吉村岳
城
後八、二五 尺八獨奏「懐
月調」小池玲山
後八、四〇 琵琶「小楠公」
高峰筑風
後九、〇五 歌謡曲 陸軍
戸山學校軍樂隊外
後九、三〇 時報 ニュー
spirit
より三日間開催されるが入
賞者は一年正木千鶴子外四
十八名、二年立花キミ外四
十六名、三年箱崎アヤ子外
二十七名、四年野村智子外
五名計百三十名である

白水検事着任 過般 福知山區裁判所より平區裁 判所に榮轉された検事白水 勝起氏は明十五日平着午後 一時五十二分着任される

團旗を先頭に
早曉惠方参り
二時を期して團員同火防屯所前に勢揃ひし團旗を先頭
に氏神の厄子稻荷を始め縣社其他各々の鎮守を巡拜し
敬神の念を深めると共に團員の懇親を圖ると

長橋火防役員 平町 長橋町火防組合は此程役員 を左記の如く決定した

(組合長) 菅野淺雄 (副組
合長) 龜岡貞雄 (世話役)
佐藤仙治 鈴木俊雄 井
幡忠雄 猪狩泰治 關正
雄 鈴木寛 川村二郎
遠藤明 井出留雄 森清
一郎

六丁目の火防 平町 六丁目青年分團火防組は此 程總會の結果優良組員とし て金成正一、吉野運之助の 兩君を表彰した

書初賣狀授與 平第
一小學校書初展覽會入賞兒
童賞狀授與式は明十五日朝
會の際舉行

神谷村夜警所 神谷 消防組第二部は此程中神谷 地内に夜警所を新築したの

不孝者に親の情け
告訴は取下たが公判は續く

ス 氣象通報 昏 豫告
明日の部
前七、〇一 基礎獨語講座
(三) 浦吉兵衛
前七、三〇 聖典講義 大
學(四)文學博士秋月胤繼
前八、〇〇 母の講座
「兒童の情操教育」(一)文
學博士 松本亦太郎
後八、〇五 浪花節
後二、〇〇 趣味講座
「災害と食物史話」中道等
後三、三〇 春場所大相撲
(五日目)兩國國技館中繼
後六、〇〇 子供の時間
で本十四日午後一時より辰
事試験分場講堂で落成式を
行ふ
名作物語「弓張月」三東京
放送童謡研究会
後六、二五 農村副業講座
「輸出向副業品の話」山中
省三
後七、三〇 趣味講座「入
れずみの話」文學博士
福士政一
後八、〇〇 箏曲「松竹梅」
遠藤松香外
後八、二〇 落語「長屋防
護團」三遊亭金馬
後八、四五 小唄 堀小富
美外
後九、〇〇 映畫劇「新妻
居候」日活現代劇部

不孝者に親の情け 告訴は取下たが公判は續く

既報親に足蹴にし傷けた平
町六丁目ベンキ職鈴木始
(三)に係る事件の第一回公
判は今十四日午前十一時よ
り平區才判所に於て香西判
事係り清田檢事立會、山野
邊辯護士列席の下に開廷さ
れ被害者の實父芳松(七)は
子を思ふ親心から告訴を取
下げたが其罪は消滅せずと
事實訊問の上來る十八日に
續行職權を以て被害者實父
芳松及び診察醫木村淳の兩
氏を證人として訊問する事
にて閉廷した

平職業紹介所報告

回人を求める方
△女中 二十三元 尋卒
月五、六圓
△農夫 三十迄 尋卒 年
給八十圓位
△鮮魚店員 二十六才 尋
卒 月十圓
△雜役 二十才 尋卒 月
十圓
回職を求める方
△紡績男工 二十四才 高卒
△手袋内職 三十五才 尋卒
△賣子 二十五才 尋五修
△採炭夫 四十三才 無學
△事務員 二十三才 中學
四年終了 以上いづれも
給料面談

シネマ週報

世界館 松竹ニュース
松竹時代劇 サウンド版
高田浩吉 八雲理恵子主
演「薩摩心中」松竹現代劇
全發聲 岡譲二 田中絹
代主演「婦系圖」
平館 日活現代劇 日活



明治太平記

(無断複製 上映及上演)

(作) 寺島証史
(畫) 野口 運

第二十八回 建白書 (九)

三條公はいよ／＼平靜に「いかにも、春日は廉直が禍して人々の愛憎の犠牲となつた。しかしこの建白書の横山正太郎が、時弊を慨して諫死を遂げたと同様に新しい時代をつくる捨石となつたのぢや。捨石決して無駄ではあるまい。それが基礎となつて理想の大厦もやがて建設されることだらう。そうはおもはぬか。大志賀」

「捨石としてはあまりに尊ぶござる」
「しかし、横山の諫死の爲に空論止み時弊が漸く改まるとしたならば無駄死ではない。捨石は此場合、國家の表面に立つて華々しく働くことに劣るものではあるまい」
「なるほど、それで死んだ横山も瞑目するでござりませう、どうかそれなる建白書の意義を徹底させるよう卿の御骨折りをねがひまする」
「いや、われ／＼のみではなくそなたも國家の爲に懸命の奉公をしなければならぬ。朝にあるものゝみで

網紀の肅正、いや國運の發展はできるものではない。朝野の有志が協力してはじめて帝國も世界に伍してけるやうになるのだ。横山の最後の第十に、上下こもごも利を征りて、國危さこ



だされ、恐縮に堪へません及ばずながら懸命の努力をいたしまする」
「そちは未だに彰義隊の再舉を企てるとのことぢやが、まことにそれに相違ないかな」
「はつ、これは御明察恐れ入ります、いつたんは小生新時代に迎合いたしザンギリ頭にならうとして總髪の大たぶさをぶち切りましたがおもひ返して彰義隊の殘黨を糾合いたし、上野の山に立籠らうと企てましたこと御訊問のとおりにござ

同志のために斃れました。小生もはや……」
「いや、隠してはいけぬ。おぬし大隈を付狙つてをるであらう」
「えつ……」
「さらにまた、廣澤參議を害めようと隙を狙つてをるではないか」
「……」
「どうぢや、おぬしの肚のうちは見抜かれたであらう」
大志賀はふた／＼びざんばら髪をふりかぶつて三條公の前に頭をさげた
「恐れ入ります。まつたく大隈八太郎を付狙つてをりましたが、それも御言葉にしたがつて取止めいたしました」

と……とあるが、まつたくそのとほりぢや、上下利を征つては國家の前途は暗慘なるものがあらう、大志賀しつかりたのむぞよ」
ふやけた、三條公の顔にそのとき一抹の精悍な色がみえた。
「はつ、數ならぬ小生ごとくにそれほどまで御期待く

ります。なれども横山正太郎の諫死、三條公卿の御意中を拜察して、はじめて小生の時勢をみる明の盲なることをさとりました」
「ではもう當路の大官を付狙ふあぶない世渡りは廢すか」
「は、小生は仇敵として付狙つた大村益次郎はすでに

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎文庫 (申込次第規則書進呈)

看護婦急派の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める

川崎文庫 (申込次第規則書進呈)

電話六三〇番

大衆を呼びかける 景品附大特賣



シホ胃腸薬

定價 二十錢 五十錢 壹圓 貳圓

一、ホシ胃腸薬金五十錢お買上げ毎に景品券一枚を差上げます

二、賣出期日 昭和九年十二月五日より昭和十年一月十五日まで

三、抽籤期日 昭和十年二月十一日 本社に於て厳正に行ふ

四、抽籤券 一萬枚を以て一組とし各組の番號は共通と致します

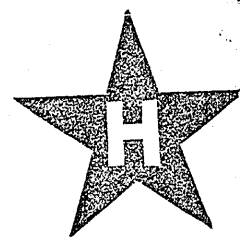
五、景品 壹萬枚に對し

- 壹等 拾圓也 (本社製品中) 五名
 - 貳等 五圓也 (御希望のもの) 一〇名
 - 參等 貳圓也 (同) 二〇名
 - 四等 壹圓也 (同) 五〇名
 - 五等 五拾錢也 (同) 一〇〇名
 - 六等 新製品マークロ小瓶一個宛全部呈上
- 六、景品はホシ支部並に、ホシチエンストアにて抽籤券引換に御渡します

主催 星製薬株式会社

ホシチエンストア平支部

ホシチエンストア一同



本品の偽物を賣る藥店がありません

東京星製薬會社製と御指定を乞ふ